

D38 情報漏えいの原因と対応・対策

【受講対象】

【概要】

情報漏えいが発生する原因と発生した場合の対応、防止するために必要となる対策を理解し、情報漏えい発生ゼロを実現する組織体制確立のためのポイントを習得する。

情報セキュリティの脅威に対する対策・対応の基本を習得したい管理者や中堅層

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 名古屋事務所
(名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階)

講師：讃良屋 安明 (パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社)

カリキュラム

<p>■ 情報漏えいの原因と損害 《2h》</p>	<p><u>情報漏えい当事者となったら</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●●社情報漏えい事件 (2014年) 内部不正 刑事罰・懲役 ●●社口座不正利用事件 (2020年) 懲戒解雇・個人賠償 ●●社カード情報漏えい事件 (2013年) 刑事罰・懲戒解雇 ●●社USBメモリ紛失事件 (2022年) 言及・懲戒処分として職務変更・社会的制裁
	<p><u>情報漏えいの原因</u></p> <p>事故、紛失、故意 (内部不正)、技術的、サイバー攻撃</p>
	<p><u>情報漏えいによる損害</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●●社個人情報漏えい事件 (2014年) 3500万人分約300億円 ●●社情報漏えい事件 (2013年) 2200万件50億円 <p>A4一枚に50人分の個人情報が印刷されている、いくら？</p>
	<p><u>標的型攻撃の実際</u></p> <p>講師が攻撃されたリアルな話。</p> <p>2年ぶりにえきねっとを使うタイミングで、えきねっとから「利用していないからアカウント停止する。引き続き利用するなら、一度でもログオンするように」とメールが来て、クレカ情報をまんまと盗まれ不正利用された話。</p> <p>実際にFromメールアドレスを偽装したメールを受信者に送って確認してもらう。</p>
<p>■ 情報漏えい発生時の対応 《2h》</p>	<p><u>情報漏えい発生時の対応</u></p> <p>パソコンの電源を切らない！ネットワークからの遮断(ケーブルを抜く、WiFiを切る)、内部通報を迅速に、警察への通報、ログ情報の確保、漏えい可能性のあるアカウントの停止、情報漏えい範囲の確定とメディアへの公表・国の機関への協力要請・関係各位への連絡</p>
	<p><u>情報漏えいのタイプ別対応</u></p> <p>内部関係者による漏えい・外部サイバー攻撃による漏えい・外部サイバー攻撃による漏えい・外部サイバー攻撃による漏えい</p>
	<p><u>対応手順</u></p> <p>当事者になってしまった時の、とっさの対応を覚えておこう！</p>
<p>■ 情報漏えいの対策 《2h》</p>	<p><u>従業員個人の対策</u></p> <p>標的型攻撃対策、フィッシング詐欺対策、Webブラウジング対策、シャドーIT対策、テレワーク対策、2要素認証、複雑なパスワード</p>
	<p><u>組織としての対策</u></p> <p>社員教育の徹底、情報セキュリティポリシーの確立、ITセキュリティ担当業務を軽く見ない (兼務としない・外部委託も考慮)、ISO27001やPマークの取得・内部監査委員の設置</p>
	<p><u>技術的対策</u></p> <p>脆弱性対策 (VPNファームウェアアップデート・ソフトウェア更新アップデート)、セキュリティソフトの導入、セキュリティ製品の導入、入退室管理、デバイス管理、書類の管理</p>